

報恩大師信仰 と寺院縁起

—四十八ヶ寺を中心に—



木造千手観音菩薩坐像
岡山市 慈眼院蔵
〔岡山県指定重要文化財〕
〔公開期間 9/26〔水〕～10/14〔日〕〕



木造俱利伽羅龍王像 岡山市 明王寺蔵

平成30年
9月13日〔木〕↓10月14日〔日〕
岡山県立博物館 第2展示室

休館日 9/18〔火〕・9/25〔火〕・10/1〔月〕・10/9〔火〕
開館時間 〔9月〕9時～18時〔9月30日まで〕 〔10月〕9時30分～17時〔10月1日から〕
入館料 一般 250円、65歳以上 120円（高校生以下無料）

主催：岡山県教育委員会 岡山県立博物館

共催：山陽新聞社

後援：RSK山陽放送 OHK岡山放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送
KSB瀬戸内海放送 oniビジョン （公財）岡山県郷土文化財団



三千仏弘明名経 岡山市 岡山寺蔵



宇喜多直家版 妙法蓮華經 瀬戸内市 大賀島寺蔵



備前国四十八ヶ寺領分国中社領目録写 岡山市 金山寺蔵



絹本着色 阿弥陀三尊来迎図
(岡山県指定重要文化財) 和気町 元恩寺蔵



紙本着色 金陵山古本縁起(西大寺縁起)
岡山市 西大寺観音院蔵(岡山県指定重要文化財)

報恩大師信仰 寺院縁起

平成30年度企画展

—四十八ヶ寺を中心に—



絹本着色 阿弥陀二十五菩薩来迎図
(重要文化財) 瀬戸内市 遍明院蔵

備前国四十八ヶ寺は、平安時代以前にその基礎ができていたとみられる古刹です。江戸時代以降になると、奈良時代に報恩大師が備前国内に開創、中興したという伝承が広く取り入れられるようになってきます。報恩大師の伝承はどのように広まり、取り入れられたのでしょうか。備前国四十八ヶ寺のほか備中地方にまで広がった報恩大師の伝承を寺院縁起や宝物を通して紹介します。

関連事業

①記念講演会(聴講無料)

講 師：徳永誓子(岡山大学大学院准教授)

演 題：備前四十八ヶ寺以前

—中世吉備の寺院を考える—

日 時：9月22日(土) 13:30 ~ 15:00

場 所：岡山県立博物館講堂

②学芸員による展示解説(入館料が必要)

日 時：9月13日(開会日・木) 14:00 ~ 15:00
10月13日(土) 14:00 ~ 15:00

場 所：岡山県立博物館 第2展示室(展覧会場)



木造 日吉三神坐像
和気町 安養寺蔵

交通の御案内

JR岡山駅 後楽園口(東口)から ●徒歩(約25分)

●路面電車(約5分)【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)

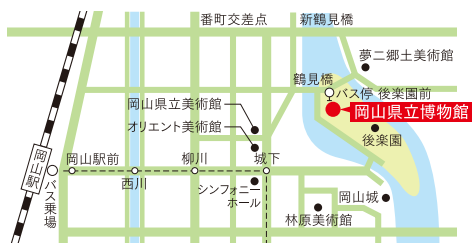
●バス(岡山駅バスターミナル1番のりば)

岡電バス【藤原団地行】(約20分)

【後楽園ノンストップバス】(約10 ~ 15分)

宇野バス【岡山後楽園バス】(約10 ~ 15分)

いずれも「後楽園前」下車すぐ



岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum



岡山後楽園前 〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
TEL.086-272-1149(代表) FAX.086-272-1150
<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>